

「高千穂郷」通信

平成15年 6月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.7



高千穂町岩戸の立宿頭首工 (堤長 16.0 m 堤高 2.6 m 受益面積 101 ha 管理者：高千穂土地改良区)

田んぼの口？！

西臼杵地域は、山々に囲まれた急峻な地形であることから、田んぼが川より上にあり、農業用水を確保するには、山奥から水を引く必要がありました。このため山間部に長い用水路を建設するなど、昔から苦勞を重ねてきました。



○頭首工（井堰）って何？

古くから、川より水を運ぶため用水路が整備されてきました。

頭首工とは、川を石等でせき止め一時的に水をため、その上流部より用水路へ水を導き入れる施設です。

人間に例えて**田んぼを体**とすると、**頭首工が口**で、**用水路が血管**ということになります。

*県内には1,135カ所の頭首工があり、西臼杵管内には44カ所（高千穂町36カ所、日之影町3カ所、五ヶ瀬町5カ所）が設置されています。

○頭首工の管理は誰がしているの？

頭首工は、田んぼを作っている人たちが集まった組織である「水土里(みどり)ネット」(土地改良区)や水利組合が管理しています。



(管理状況)堰板が倒れるかを確認

西臼杵地域の頭首工は山間部にあるため、頭首工までの道がないところは、用水路をたどりながら移動したり、施設によっては管水路の上を歩いたり、危険な箇所もあります。

【高千穂町 登尾地区の頭首工】 (岩戸川上流木谷川)



登尾地区の管水路

この区間は、水路左上が斜面で右下はがけでとても危険であることから直径35cm、長さ21mの管の上を綱を伝いながら渡ります。

着々と進む田原バイパス整備



田原新橋は来年2月頃完成！

国道325号「田原バイパス（延長6.7km）」において、現在、「田原新橋」の橋梁工事が進められています。

この橋は橋長104m、幅員10mの鋼製。今年の5月末から、現地での架設工事を開始しました。特殊な鋼材を使用しており、塗装工事等の必要がなく、今後、5年から10年かけて、全体的に黒に近い色に変化していきます。

■国道325号「田原バイパス」について

国道325号は、県北地域と熊本県を結ぶ幹線道路です。しかし、県境部は急峻な山地を横断するため未改良区間も多く、また、冬季は積雪や路面凍結により通行が規制されるなど、交通には大きな障害となっていました。このため田原バイパスが、昭和63年度から総事業費120億円をかけて進められています。平成9年度に河内と荒神工区が完成。残る田原工区は、平成12年度に玄武山トンネルが完成し、進捗率は平成14年度末で96.3%。来年の供用開始をめざし、着々と工事が進められています。

6月は「土砂災害防止月間」

■管内の土砂災害

西臼杵管内は、中山間地域で土砂災害の危険個所が多く、県全体の危険個所の約11%を占めています。平成14年度末で土石流危険渓流、地すべり危険個所及び急傾斜地崩壊危険個所を合わせて1,300カ所弱の土砂災害危険個所があります。昨年度は5件の土砂災害が発生したのをはじめ、毎年、大雨などによる災害発生の危険性があります。そこで計画的に砂防事業に取り組むとともに、土砂災害が発生した際には、現場での情報を収集し、早急な手当を図っています。

■事業の実施例（高千穂町）

河内地区では小学校、幼稚園及び診療所も保全対象に含み、平成9年度から8年間で延長690m、総工費約3億5千万円の計画で事業を行っています。

地区内には役場支所建物跡もあり、それを活用しようとする地域のまちおこしグループの方々の意見も参考にしながら整備を進めています。



高千穂町立田原小学校の整備状況
澤 祥一校長は「学校周辺の急傾斜地を整備していただき、子供たちも安心して勉強に励めるし、景観もよくなりました」とコメント。

■土砂災害防止の広報 ～防災意識を高めるために～

○「土砂災害防止教室」を開催



土砂災害防止教室の様子（押方小学校）

6月4日に高千穂町立押方小学校（児童数81名）で、土砂災害防止教室を開催しました。パンフレットやビデオなどで、土石流や地滑り、土砂崩れなどの土砂災害を紹介。「雨の時は、低いところでは遊ばないように」など、具体的な事例を交えながら注意を呼びかけました。

児童からは「身近な危険個所を先生や家族と確認します」との発言もありました。

この他にも、大人を対象にした「土砂災害防止講座」を計画。土砂災害防止に対する理解と関心を深めてもらうとともに、土砂災害についての防災知識の普及に取り組んでいます。

○郵便局との「山地・土砂災害情報提供協定」

西臼杵支庁では、昨年6月に各町の郵便局と「山地・土砂災害情報提供協定」を締結。この協定により、県内で唯一、管内全てを網羅する警戒避難体制のより一層の強化を図っています。

中山間地域等直接支払交付金を活用して集落の活性化を図りましょう！

この交付金は、中山間地域の農地を守り、集落の活性化を図るために、平成12年度から交付されています。

平成14年度は、宮崎県全体で約7億円の交付金が交付され、その半分以上が西臼杵の3町に支払われ、集落の活性化のために活用されています。

この交付金は、農地や農道、水路などの維持・管理はもちろんのこと、共同利用機械の導入や鳥獣害防止対策にも利用できます。

☆☆交付金の活用事例☆☆



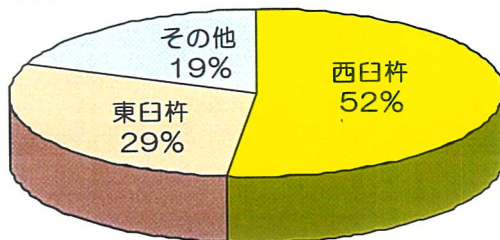
農道の簡易舗装（高千穂町下野西集落）



共同農機具倉庫の設置（日之影町椎谷集落）

◎西臼杵3町の町長、町議会議員、農業委員会委員長は、平成17年度以降の交付金制度の継続を県農政水産部長に要望しました。

<平成14年度県内地域別交付金額割合>



野鳥を通して自然の大切さを学ぼう
「野生のいきものふれあい講話」開催

野鳥など野生のいきものへの理解を深めるため、5月31日と6月7日の2日間、「野生のいきものふれあい講話」が高千穂町の総合運動公園や高千穂峡などで開催されました。



講師を務めた日本野鳥の会宮崎県支部会員と散策する子供たち（高千穂町総合運動公園）



野鳥が入ってくれることを願って、一生懸命、巣箱づくりに励む子供たち

参加したのは西臼杵管内の愛鳥モデル校（高千穂小学校、八戸小学校、三ヶ所小学校）の少年団43名で、野鳥観察会、ふれあい講話、巣箱づくりを通して、命の尊さ、自然があることの大切さを学びました。
21世紀は環境の世紀と呼ばれる現在、この子らの手によって豊かな自然が守られていくことを願いたいものです。

私たちの暮らしを守るため大切な役割を担う保安林

私たちが普段当たり前のように思っている安全で快適な暮らし。その裏には、水源のかん養や山地災害の防止などをはじめとする多様な森林の働きがあります。国や県では、こうした森林を保安林に指定しております。

保安林に指定されると、税金が免除されたり、必要に応じて治山事業による整備が可能になる等の優遇措置もあります。



今年度、保安林指定推進のためのモデル地区に指定された五ヶ瀬町坂本地区



台風による被災後、保安林改良事業で植栽された山林（高千穂町小谷内）



保安林改良事業にて間伐された山林（日之影町大山）

支庁では、西臼杵年度、五ヶ瀬町、本地区を保安林指定モデル地区に指定し、地域の住民に安全な暮らしを確保するための保安林指定を推進してまいります。

道の駅「高千穂」のレストランがオープン!



地元の食材をふんだんに使った道の駅「高千穂」のレストランが5月17日(土)にオープン。

人気メニューは「山女魚そば」や「だご汁定食」「高千穂牛カレー」など。夏の新メニュー「ざる豆腐」も好評です。高千穂の素材を活かしたおいしい料理を食べに来ませんか。神都高千穂大橋からのロケーションも最高です。(お問い合わせ)

道の駅「高千穂」1F TEL0982-72-3100

西臼杵郡内乾しいたけ生産者大健闘!

~「第48回宮崎県乾しいたけ品評会」団体の部で、五ヶ瀬町が第3位、日之影町は躍進賞を受賞!!~

「第48回宮崎県乾しいたけ品評会」(4月15~16日、県経済農業協同組合連合会椎茸流通センター)には、県内から632点もの出品があり、うち263点が入賞。

このうち、西臼杵郡内からは66点が入賞するという輝かしい成績を収め、西臼杵産乾しいたけの品質の良さや安定した技術力が高く評価されました。



700g 香菇(い)部門で、1等を受賞した五ヶ瀬町 甲斐末丸氏の乾しいたけ

管内の主な交通規制のお知らせ

○ 国道218号「青雲橋」再塗装工事(平成15年12月まで 日之影町七折)



かさあげ

国道218号の日之影川に架かる青雲橋は、昭和60年に完成し、建設から18年が経過したことから、昨年度から鋼材保護のための再塗装工事を実施しています。

垂直高の高いアーチ橋であるため、塗替工事用の足場を設置・撤去する際には、大型クレーン車による作業が必要となります。

このため、昼間は今年12月まで、片側交互通行の交通規制を行います。

○ 北方高千穂線道路嵩上工事(平成16年9月まで 日之影町七折)

宇納間日之影線の道路改良工事のため、平成14年12月から新五ヶ瀬橋(仮称)の工事に着手しました。

本橋梁は、TR高千穂鉄道の上を通るため、北方高千穂線の嵩上工事を行う必要があります。今後は、昼間の時間規制が平成16年9月末まで続くこととなります。



※ご迷惑をお掛けいたしますが、ご協力をお願いします。

(お問い合わせ) 西臼杵支庁 土木課 TEL 0982-72-3191

編集後記

先日、阿蘇地域振興局(一の宮町)まで出張。2年前から、熊本・大分両県の出先機関と意見交換会を行っており、その打合せのため。▶往路は五ヶ瀬経由の国道218号「ひむか神話街道」、復路は阿蘇と高千穂を最短で結ぶ国道325号を通った。▶ひむか神話街道の目的の一つは「阿蘇の観光客の一部を宮崎に誘致したい」ということ。当然、北の玄関口西臼杵の役割は大きい。▶国道325号は、改良工事が急ピッチで進められている。今回紹介した「田原バイパス」が完成すれば、さらに通りやすくなり、観光、物流、地域間の交流など、様々な効果が期待できる。▶神話街道、特区、地域活性化、隣県との連携、情報発信など、今、西臼杵は、充実している。

木の温もりを伝えたい!

五ヶ瀬町林業研究グループの曾我部謙三さんは、五ヶ瀬町産のスギ・ヒノキをふんだんに使った家づくりに取り組んでいます。



県産材で建てられたログハウス(日之影町)

「森林の持つ多面的機能(CO2吸収・水質浄化・水資源貯留など)を評価すれば、年に70兆円にもなると言われています。もっと国産の木が利用されればこれらの機能を保つことができ、森林・林業・山村の活性化にもつながっていくと思います」とのこと。ログハウスに関心のある方は是非一度、問い合わせせてみてはいかがでしょうか。

(お問い合わせ)
五ヶ瀬町鞍岡2847 TEL 0982-83-2106

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課

TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760